2013年9月24日

掲載論文の抹消について

本誌に掲載された下記10本の論文は，二重投稿であることが確認されたので，本誌掲載論文から抹消する(同一内容の論文が他誌に掲載されたものについては，括弧内に論文名を示す)．

①吉田益喜，上埜剣吾，松下記代美，川田　明，手塚　正：慢性臀部滑液包炎の1例．臨皮 **57**：702-704, 2003
(吉田益喜，上埜剣吾，松下記代美，川田　明，手塚　正：慢性殿部滑液包炎の1例．日形会誌 **22**：826-830, 2002)

②吉田益喜，若野　司，川田　暁，手塚　正：腫瘍内血腫を合併した神経線維腫症1型の1例．臨皮 **58**：775-777, 2004
(吉田益喜，若野　司，川田　暁，手塚　正：びまん性神経線維腫内に巨大血腫を形成したレックリングハウゼン病の1例．形成外科 **47**：1131-1135, 2004)

③吉田益喜，川田　暁，手塚　正：Human papillomavirus 16型を検出した陰茎部Bowen病の1例．臨皮 **59**：72-74, 2005
(吉田益喜，川田　暁，手塚　正：ヒト乳頭腫ウイルスが関与した陰茎部Bowen病の1例．形成外科 **47**：1137-1141, 2004)

④吉田益喜，川田　暁：悪性石灰化上皮腫の1例．臨皮 **60**：423-425, 2006
(吉田益喜，川田　暁：悪性石灰化上皮腫の1例．形成外科 **48**：1131-1134, 2005)

⑤栗本貴弘，吉田益喜，川原　繁，川田　暁：Balloon cell nevusの1例．臨皮 **61**：260-262, 2007
(吉田益喜，川田　暁：陰嚢皮弁で再建した陰茎部balloon cell nevusの1例．形成外科 **50**：471-474, 2007)

⑥和田珠恵，吉田益喜，川原　繁，川田　暁：右腋窩アポクリン腺癌の1例．臨皮 **65**：685-689, 2011
(Yoshida Masuki, Kawara Shigeru, Kawada Akira：A case of apocrine adenocarcinoma in the right axilla. Acta Med Kinki Univ **36**：29-31, 2011)

⑦吉田益喜，成田智彦，川田　暁：耳介からの複合組織移植で鼻翼再建したmicrocystic adnexal carcinomaの1例．臨皮 **66**：1074-1078, 2012
(吉田益喜，成田智彦，川田　暁：Microcystic adnexal carcinomaの1例．形成外科 **55**：1243-1248, 2012)

⑧藤田美幸，吉田益喜，成田智彦，川田　暁：手掌部に生じた色素性Bowen病の1例．臨皮 **67**：603-606, 2013
(吉田益喜，成田智彦，藤田美幸，川田　暁：悪性黒色腫との鑑別を要した色素性Bowen病の1例．形成外科 **56**：873-877, 2013)
(Yoshida Masuki, Kawada Akira：Pigmented Bowen's disease of the palm mimicking malignant melanoma：report of a case. Acta Med Kinki Univ **38**：61-64, 2013)

⑨濱めぐ美，成田智彦，大磯直毅，吉田益喜，川田　暁：平滑筋肉腫の頭皮皮膚多発転移例．臨皮 **67**：627-631, 2013
(吉田益喜，川田　暁：平滑筋肉腫の多発性頭皮転移の1例．形成外科 **55**：1137-1142, 2012)

©IGAKU-SHOIN Ltd. 2013

⑩吉田益喜，樋口久里子，成田智彦，川田　暁：下口唇部慢性円板状エリテマトーデス皮疹上に生じた squamous cell carcinoma *in situ* の 1 例．臨皮 **67**：703–706, 2013
（「形成外科」に投稿されていたことが確認された）

また，すでに採択され掲載待ちの 2 論文についても採択を取り消す．なお，上記に示した 4 誌の論文に執筆者としてかかわった者からは，2013 年 11 月から 1 年間，本誌への投稿を受理しない．

二重投稿は，研究者として厳に戒めるべき行為であり，今後二度とこのような事態が起こらぬよう，投稿者への注意を喚起するものである．

「臨床皮膚科」編集委員会